

日本質量分析学会における男女共同参画推進の取り組み

日本質量分析学会 男女共同参画推進委員会
(委員長 澤 竜一・(公財)微生物化学研究会)

Annual Report on the Activity of the Committee for the Promotion of Gender Equality in the Mass Spectrometry Society of Japan (MSSJ).

The Mass Spectrometry Society of Japan

(Ryuichi Sawa, Microbial Chemistry Research foundation)

Abstract: The Committee for the Promotion of Gender Equality in the Mass Spectrometry Society of Japan (MSSJ) has been carrying out activities with a workshop during the annual conference in Mass Spectrometry over the past two years. Since these workshops were one of the concurrent sessions, it was tendency to participate in other academic session even if there are interested. This year, we decided to inform our activity of past two years by using the poster.

1. 本学会の概要

日本質量分析学会は、質量分析の原理とその応用の研究を促進し、あわせて質量分析技術の進歩発達および普及をはかることを目的とし、1953年に設立された。その後2015年には一般社団法人になり、同年度における会員(一般会員、学生会員、永年会員、名誉会員、賛助会員)の総数は1024名(うち女性197名、19.2%)、その中で学生会員は103名(うち女性30名、29.1%)となっている。

2. 今年度の活動

- (1) 第64回質量分析総合討論会(2016年5月18日~20日、大阪)ならびに第43回BMSコンファレンス(2016年7月4~6日、熱海)において過去の当委員会の活動をあらためて知ってもらうためにポスターの掲示およびアンケート調査を行った。
- (2) 第64回質量分析総合討論会および第43回BMSコンファレンスにおいて託児所を開設した。
- (3) 男女共同参画推進委員会のwebページを更新した。(URL: http://www.mssj.jp/society/branch/society_gender.html)
- (4) 演題発表者等の属性調査を行った。

3. 第64回質量分析総合討論会ポスターについて

当委員会では過去2年間にわたり本学会の最も大きなイベントである質量分析総合討論会において会期中のワークショップの時間を頂いて活動を行ってきた。しかしながら、ワークショップは例年3つの並行セッションの一つであったこともあり、興味があっても他の学術セッションに参加する傾向が強かった。そこで本年度は、終日ポスター掲示が可能な場所を頂いて会期中見ることが可能な状況を設定して、過去2年のワークショップの内容を再度見ていただくことをもってその内容の周知に努めた。

4. アンケート調査について

第64回質量分析総合討論会会期中に例年行っているアンケート調査を本年も実施した。昨年同様に次の2点を考慮して項目を設定すると共に、ポスターの内容および今後の活動に対する意見・感想の収集に重点を置いた構成でアンケートを作成した。

(a) 参加者の背景情報を把握することで、どのような環境で仕事をされているのか、男女共同参画に対してどのようなお考えをお持ちなのかという事を読み取る。

(b) 毎年同じ項目を繰り返し質問することで、意識や環境の変化を経時的に把握する。

総回答数は60名で、内訳は女性20名男性40名。回答者の88%が「男女共同参画」という言葉を知っており、MSSJにおける男女共同参画推進委員会の活動に関しては「知っていた」との回答が50%で昨年に比して認知度が下回った。昨年度のワークショップ参加者に対するアンケート数に比べ今年度はポスターを用いたことにより約2.2倍の回答者数となることで、より多くの方々の状況を反映したものと考えた。また今回、男女・職種別集計を国内外出張で行なったところ、差が顕著に示されることもわかった。

* 開催報告はMSSJ男女共同参画HPへ掲載。

5. 演題発表者等の属性調査について

第64回質量分析総合討論会における演題発表者等の属性調査を行った。事前登録参加者については、登録時にアンケート調査をすることで集計した。参加者数559名(うち女性129名、23.1%)で、口頭、ポスター含む一般講演者数は207名(うち女性発表者数53名、25.6%)となり参加者に対する割合とほぼ同程度の属性割合を示した。一方で調査対象のセッション総数は11であり多くはないが、セッションオーガナイザー、招待講演、基調講演における女性比率は平均9.1%であった。